

第 20 回専門部会の意見等と対応について

第 20 回専門部会の意見や事務局での検討結果を踏まえ、対応・修正した箇所について、以下のとおり整理いたします。

番号	意見の要旨・検討事項	市の考え・対応	計画書頁
1	<p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間である 20 年後の人口減少について、真剣に考える必要がある。 ・人口減少の危機意識が前段部分で希薄に感じられる。 	<p>・ご指摘を踏まえ、計画書の「目的、改定の背景」、「緑をとりまく社会の変化」において、人口減少の危機意識に関する以下の内容の記載を行います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◆目的、改定の背景 ⇒人口減少や高齢化により、地域コミュニティの弱体化や財政制約の高まり等の問題が、緑の創出や保全活動に影響を与えることが懸念される。 ⇒緑によって都市の魅力を高め、人口減少社会においても選ばれる、緑豊かで心うるおう都市を目指す。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆緑を取り巻く社会情勢の変化：人口減少社会への対応 ⇒人口の継続的な減少に加え、高齢化の更なる進展が見込まれる中、人口構造の変化に伴うニーズの変化や財政制約の高まりに対応しつつ、本市の魅力の一つである豊かな緑を保全し活用する。</p> </div>	P 1 P53
2	<p>【事務局検討事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでまもるみどり」に係る基本方針「公園施設の計画的な維持管理を進めます」について 	<p>・公園施設の維持管理には、計画的な維持管理だけでなく、公園愛護協力会等の民間との協働など、持続可能な管理体制が重要であることから、基本方針のタイトルを修正し、内容の追記を行います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◆変更後のタイトル ⇒公園施設の持続可能で適切な維持管理・更新を進めます。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆追記内容 ⇒除草・美化活動等の日常管理や安全確保に向けた見守り体制の確保に関しては、公園愛護協力会をはじめとする市民との連携による実施を推進します。</p> </div>	P70

番号	意見の要旨・検討事項	市の考え・対応	計画書頁
3	<p>【事務局検討事項】</p> <p>・「みんなでいかすみどり」に係る基本方針「既存ストックの活用を進めます」について</p>	<p>・内容について、既存ストックの対象を明確にするため、都市公園と都市公園以外に分けて、基本方針を設定します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◆変更後の基本方針と内容の主旨</p> <p>【タイトル】</p> <p>⇒多様なニーズに対応した都市公園の活用を進めます</p> <p>【変更内容の主旨】</p> <p>⇒多様なニーズに対応するため、都市公園の利活用や再整備により、多様な視点からストック効果を高める取組を推進していきます。また、都市公園のさらなる魅力向上のため、官民連携による整備・運営の方針について検討します。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◆都市公園以外の緑に関する基本方針</p> <p>【タイトル】</p> <p>⇒緑と親しめる場の創出を進めます</p> <p>【内容の主旨】</p> <p>⇒近年、市民が自然とふれ合う場や、緑を介した地域コミュニティの醸成・交流機会の創出等が求められています。</p> <p>このため、公共用地の交流・教育の場としての活用や、街路樹等を、日常から親しめる緑としての活用を推進します。民有地は、樹林地の市民緑地契約制度の活用促進等により、市民が緑とふれ合える場としての活用を促進します。</p> </div>	P77
4	<p>【事務局検討事項】</p> <p>・「みんないかすみどり」に係る重点テーマについて</p>	<p>・3つのテーマを挙げていましたが、内容の重複を解消し、分かりやすいものとするため、各内容の統合等により、テーマを1つに絞ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◆変更後の重点テーマと内容の主旨</p> <p>【タイトル】</p> <p>⇒大規模公園の活用を推進します</p> <p>【内容の主旨】</p> <p>⇒大規模公園を対象に、多様な分野との連携強化や個々の特性を活かした整備により、既存ストックの活用を推進します。千秋公園については、再整備基本計画に基づき、憩いと賑わい空間の再生を推進します。</p> </div>	P78

番号	意見の要旨・検討事項	市の考え・対応	計画書頁
5	<p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存樹が多すぎるから、補助金が十分でない。 ・実質的な保存樹制度運用が必要。廃止は難しいので、再選定や一つ格上の位置づけとするなどの方法が考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、「みんなでまもるみどり」に関して以下の施策を位置づけます。 ・なお、保存樹制度の見直し等に関しては、改定計画に基づき別途専門部会で検討する予定です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⇒歴史のある樹木、美観上優れた樹木等は、保存樹制度により適正な維持管理を促し、支援していくとともに、これまでの運用で生まれてきた同制度の課題を解決するため、現行制度の見直しも含めた検討を進めます。</p> </div>	P83
6	<p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画公園の見直しについて、精査を早めに行ったほうが良いと思う。 ・上位の都市計画に留意しながら、緑化と都市計画との整合性を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画公園等の見直しについては、計画書の「緑の将来目標」の「緑のまちづくりの基本方針および重点テーマ」のうち、「みんなでつくるみどり」に係る重点テーマとしており、施策においても以下のとおり位置づけます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⇒コンパクトな市街地形成と整合した「選択と集中」の考え方や地域住民のニーズを踏まえ、長期整備未着手となっている都市計画公園・緑地等について、基本的な考え方や手順を示すガイドラインを策定するなど、改めてその必要性や実現性等の検証を実施することにより、見直しを進めます。</p> </div>	P85
7	<p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「多様な主体」として、愛護会など新たに結成する団体もいいが、町内会など既存の団体の活動を「緑化」というキーワードで面白くしていくとコミュニティがもっと深くなるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、「みんなでそだてるみどり」に関して以下のとおり施策を位置づけます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⇒緑のパートナーである町内会等の市民団体による自発的な緑化活動について「緑のまちづくり活動支援基金」等による支援を行うとともに、これらの緑化活動を通じて、地域コミュニティの活性化を図ります。</p> </div>	P89

番号	意見の要旨・検討事項	市の考え・対応	計画書頁
8	<p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山などだけでなく、庭木などの日常の緑に目を向けさせるための学校教育とのリンクが必要。そうでなければ、「気づき」というのは養成されない。 下浜地区の一般の方と連携して学校教育をやっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生の時期より、緑への関心を高めていくため、森林等における自然体験学習等を実施することにより、子供たちが緑の大切さに触れ、日常の緑へと目を向けていくきっかけづくりを行うことを目指し、以下の施策を位置づけます。 なお、第3次秋田市教育ビジョンでは、自然との共生の観点から郷土の自然学習について考える学習の充実等が位置づけられています。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⇒小中学生等の子供を中心として、市民の自然や緑に対する興味や意識の向上、緑の大切さや豊かさへの気づきを育むため、緑に係る市民団体や学校教育との連携により、水辺環境や森林等を活用した自然学習や自然観察会等の実施を促進します。</p> </div>	P90
9	<p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋田ならではの新しいものを考えて欲しい。どこか一つだけでもいいから、どんと深掘りして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本計画では、緑の再生・活性化を目的とし、質の向上に重きを置いていることから、それらに係る代表的な取組をコラム形式で紹介することで、改定計画の特徴（≒秋田らしさ）を打ち出すこととします。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①市民による緑づくりの活動や制度の紹介 ⇒緑の再生・活性化の実現には、官民双方が積極的・主体的に取り組んでいく必要があります。そのため、市民による取組を促進することを目的に、市民が取り組む「緑づくり」の活動内容や、活動を実施するための制度を紹介します。</p> <p>②千秋公園の再整備の紹介 ⇒千秋公園は、秋田市の“顔”である中心市街地に位置し、緑の拠点・歴史的象徴となる公園です。また、更なる魅力の向上に向けた取組みが進められていることから、本計画の先導的な施策として紹介します。</p> </div>	P91 P95
10	<p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 景観管理という計画的に植樹、伐採、剪定が必要であり、質の向上という点において、計画でうたって欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘を踏まえ、「みんなでいかすみどり」に関して以下の施策を位置づけます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⇒公園木や街路樹は樹形等の質の向上に配慮した整備管理を行うことにより、優れた景観の創出による新たな観点を踏まえた公園の魅力向上に努めます。</p> </div>	P93

番号	意見の要旨・検討事項	市の考え・対応	計画書頁
11	<p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画書を作る際は、難しい言葉を避けるなど、誰に対しての計画なのかという意識が大事。説明文を入れるなどの配慮が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘を踏まえ、計画書内で、一般の方が分かりにくいと考えられる言葉については、注記を追加します。 	—